

磐城時報

編輯 石城郡平町新田下田山田寅 印刷 磐城時報社

縣醫師會員の

學術研究發表

第七回醫學大會

松ヶ岡公園

福島醫師會第七回學術大會は二十日午前九時から平町警城中學校講堂に於いて開催、縣醫師會長白石西三氏の開會の辭に就いて會員の學術研究發表に討論に入り午後二時から斯界の泰斗佐々木藏之助博士の近代激論「虫癩突起」に就いての論議、

平町松ヶ岡公園その他の櫻はもうすっかり散つて葉櫻となり、つじがそろそろ咲きかけて来たが、つじに夜景はそはまつじだけで各店も仕事にならぬので豫定の通り松ヶ岡の裝飾電燈は二十日限りで撤廢し各店も同日限りで閉店したので松ヶ岡は花吹雪の暗がりになつた、今年の花見時の松ヶ岡の風景は何處も同じ空気があつた、今年の花見時の松ヶ岡の風景は何處も同じ空気があつた、今年の花見時の松ヶ岡の風景は何處も同じ空気があつた、

篠原課長について

早くも無氣味な噂がたつ

石城郡内郷村白水入山川平坑事結果と見られる、氏は同夜遅く務主任須藤吉孝、四四氏が二十日に就いて午前一時から二時、午前六時自便所内に細紐を頭家人が寝静まるのを見て縊死が發見して大騒ぎとなり平署に届出たので目下原因その他に炭礦坑夫某も縊死を遂げたので平署で取調中だが何れも警視同氏は約二十年前から炭礦に入炭礦篠原課長の死に誘はれたものでこれ等を悲觀しての傳へられてゐる。

長男殺判決

石城郡植田町新田下田山田寅市六が二男武(一九)を謀殺して放蕩の長男勝三(三三)を殺害して死体を縛り埋めた、殺人死体遺棄事件第一回公判は去る十六日平支部法廷に於て開かれ重市は懲役七年、武は四年六月を求刑されることは既報の通りであるが、被害者勝三が評判の暴漢であつた点から見るに、犯行を演ずるに至つた点には同情をすべきであるが我子や兄の死を縛りつけたまゝ埋める等は人間を超越したる考へられず被告兩名に相當懲罰性のあることを認められ且又十年も前から繼續に犯行を計劃し居た等と言ふ点がある結果と思はれるので去る二十四日の判決が如何に言ひ渡されるか尠からぬ注目をひいてゐる。

注射する葉子商

醫師法違反として檢舉

石城郡湯本町字笠井菓子製造業安達郡下村生邊渡善作(四七)は醫師を装ひ大正十四年六月以來五年間に亘り石城郡玉川村高萩みよしを手に始めに萬病特效薬としてビュタールと稱する注射を一回に二本宛金三圓を取つて放蕩の長男勝三(三三)を殺害して死体を縛り埋めた、殺人死体遺棄事件第一回公判は去る十六日平支部法廷に於て開かれ重市は懲役七年、武は四年六月を求刑されることは既報の通りであるが、被害者勝三が評判の暴漢であつた点から見るに、犯行を演ずるに至つた点には同情をすべきであるが我子や兄の死を縛りつけたまゝ埋める等は人間を超越したる考へられず被告兩名に相當懲罰性のあることを認められ且又十年も前から繼續に犯行を計劃し居た等と言ふ点がある結果と思はれるので去る二十四日の判決が如何に言ひ渡されるか尠からぬ注目をひいてゐる。

卅五年祝賀

平町警城中學校では開校三十五週年紀念祝賀會を五月五日催はすが、當日は紀念陸上運動會を舉行し物居職員の慰勞會を行ひ功勞者を表彰する由。

加納外一氏逝く

平町加納活版所植字部主任加納外一氏は腎臟病を病み療養中の處十九日午後十一時死去した、遺骸は二十日午後七時茶毘に附し二十一日午後二時平町長崎町自宅出棺儀式により執行した。

名簿縦覽

來る五月一日執行される家屋税調査委員の選舉人名簿は平町の有権者千四百三十九名で二十一日から七日間縦覽せしむる由である。

鶏を盗む

澤渡村で協議 石城郡澤渡村方は鐵道まで數里離れた山間地で昭和今日と雖も野獸横行甚だしが最近字上り地之に一匹の古狐が白晝悠々と現れ人家の空巣をねらつて襲ひ或家は毎日一二羽の鶏をさられ合計約五十羽も喰はれたと言ふので部落民は退治すべく相談中である。

家屋税委員

來る五月一日執行される家屋税調査委員の選舉人名簿は平町の有権者千四百三十九名で二十一日から七日間縦覽せしむる由である。

衰微した原因

三百名の適齡者で僅か九名 當局で善處策講究 石城郡下の青年訓練所の入所生の通知をするに過ぎず殆んど放成績は本年度も概して僻村の山仕状態にあることも看過し得ぬ間地方及農村が良好、漁村並に處で當りでもこの点を基調として町方部は成績である事は例年通りであるが特に本年は人口上り殊に多かるべき平町が三百余名の適齡者であつて僅かに九名といふ縣下は勿論全關に類のない少人数指導員三人に對し訓練生二人といふ珍現象に當局も呆然としてゐる原因は青年訓練所があたかも陸軍の一部分で當然甲種合格として入營せねばならぬ如き身体健全なもの、外は必要なきものと誤解してゐること、徒弟が多數なるため主家の理解なき限り希望しつゝも入所できぬものが多い等であるか一面都會地は係員は勧誘や普及について熱心さが乏しく適齡者に一片

腎臟病で縊死

石城郡湯本町字日渡元入山炭礦坑夫五十嵐春次郎(六六)は二十日午後八時頃持病の腎臟病を苦にして自宅内での死を遂げた。

第二校委員會

平町第三小學校通學道路敷地の買収に關する委員會は二十一日午前九時から平町役場に開き坪十二圓で買収する件について協議した。

摘草中溺死

石城郡玉川村字住吉草長女齋藤きよえ(三三)は十九日午後三時頃自宅前の溜池附近で摘草をなしてゐるうち池の中に轉落溺死した。

入賞者表彰

平町建具指物商組合主催の徒弟製作品々評會は去る十七日から二十一日まで平町元平商業學校に開催中であつたが審査の結果二十一日午後三時から入賞者に賞品を授與する事になつた、入賞者の如くである。

建具指物

平町建具指物商組合主催の徒弟製作品々評會は去る十七日から二十一日まで平町元平商業學校に開催中であつたが審査の結果二十一日午後三時から入賞者に賞品を授與する事になつた、入賞者の如くである。

ハガキ集

(投書歓迎) 昨日縣社の御神輿が渡御の際一丁目の或家の二階の障子が開いて居ると云ふので供奉中の金幣持つ一人の紳士が大喝一聲障子を閉めろと怒號したが、随分呆れた常識の無い誤れる敬神家だ、自分が警戒員でもなかつたつもりで陽射の加減で上氣したのか、神聖嚴肅なる神輿に供奉する身も打忘れ列中から不謹慎にも怒號するなどは困つた人格者といふ心ある者は笑つて居た、以て來氣をつけて紳士常識學の修養あつて然る可し呵々。(水野アイヌ生)

